

RCJ構造改革案 ver9.3

RCJ運営委員会



そなえよつねに
ボーイスカウト

構造改革したらどうなるの？

ローバーの活動って何をすればいいの...？

周りに仲間がいなくて活動できない...



解決



ローバーとして幅広く活動を展開できる！



そなえよつねに
ボーイスカウト

そもそも全国ローバースカウト 会議(RCJ)とは..

ローバースカウト又は指導者として登録する
18歳から25歳の加盟員で構成されています

情報交換の場の提供や提言活動などを通して、
全国のローバースカウトの活動を活性化させる
ことを目的としています



何のためのRCJ？

~3つの軸を定めることで、RCJの成長はブレない~

Vision（私たちのなりたい姿）

- **Creating a better World by Rovers（より良い世界を、ローバーで）**

Mission（私たちの役割）

- **みんなのローバー活動のサポート**

Value（私たちのあるべき姿）

- **ローバー活動を常に研究し続ける。**



具体的に何するの？

-Mission-

【私たちの任務】

みんなの
ローバー活動
のサポート

もっと
詳しく！

情報
不足の
解消

活動
機会の
提供

3本
の柱

活動環境
の改善



ローバー活動の推進サイクル

情報・活動機会の
提供による
ローバーリングの
サポート

このサイクルを回していけば
どんどん幅広くローバー
活動ができるようになるね！

活動環境の改善

構成員が各地にて
ローバー活動を
展開

総会、もしくは
教育推進会議な
どの機関で提言

その結果生じる
課題・意見など
を集約



構造改革案について

未来のRCJのために、どう変わるか



どうして構造改革するの？

RCJの未来のため

- RCJをより身近な「**使われるRCJ**」に成長させるため
→”ローバー活動のサポートとして使ってもらおうRCJ”
- RCJとして、ローバースカウト教育の推進により深く関わるため

RCJのパフォーマンスを向上させるため

- 役割をより明確にすることで、RCJという枠組みの効果が発揮できる

今のRCJの組織構造は？

運営委員会 = RCJ全体の組織運営のための委員会

現状

【概観図】

運営委員会

前年度留任枠

ブロック代表委員

県代表による
ブロック内の選挙

ブロック
県

RCJ 構成員

県ごとに代表を
1名選出

県代表が集い、
ブロックごとに
代表を1名選出

ブロック代表
計6名

留任2名

前年度運営委員会
から2名が留任

RCJ運営委員
8名が選出



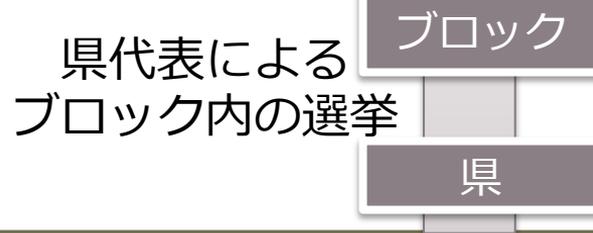
そなえよつねに
ボーイスカウト

現状

運営委員会

前年度留任枠

ブロック代表委員



RCJ 構成員

改正案

運営委員会

留任枠

活動推進委員

連携

ブロック代表委員

ブロック

県代表による
ブロック内の選挙

県

県代表による選挙

R C J 構成員

現状と改正案の比較

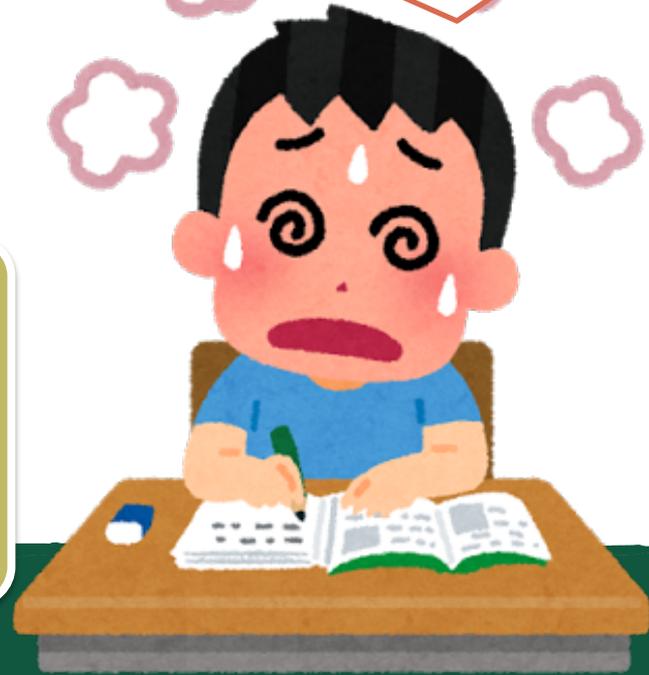
| | 現状 | 改正案 |
|------|---|--|
| 構成 | 留任枠 2名(昨年度運営委員) ブロック代表 6名(6ブロック) アドバイザー 若干名 | 選挙で選出された者4名以下 + 留任枠2名 ブロック代表 6名(6ブロック) アドバイザー 若干名 |
| 人数 | 8名+若干名 | 12名+若干名 |
| 会議回数 | 総会時 数回 その他 年度3回対面会議 適宜Skype会議 | 総会時 数回 年1回は12名全員対面会議【初回】 年2回は活動推進委員の対面会議、ブロック代表はSkype会議で参加(交通費の関係) |
| 選挙 | 留任枠は前年度運営委員が事前に確定し、総会で発表 ブロックにて事前に代表を確定 総会当日に最終確定 | 留任枠は前年度運営委員が事前に確定し、総会で発表 総会当日に選挙を行い、4名を確定する。 ブロックにて事前に代表を確定 総会当日に最終確定 |
| 課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・現在の運営委員は、自分の県とブロックの仕事をした上で、更に運営委員会の組織運営をしなければならない ・留任枠の委員がブロック代表を十分に育成することが困難 | <ul style="list-style-type: none"> ・立候補するような意欲を発揮するための情報提供をどのように行うか ・相応しい人を選出するための情報提供をどうするか ・総会での選挙に伴う作業をどう実行するか |

現状の構造的な課題 1

現在の運営委員は、自分の県とブロックの仕事をした上で、更に運営委員会の組織運営をしなければならない

県のこともブロックのこともやって、更に副議長とかもやるのは大変...

業務を分けた方が、
もっと仕事に集中できる！



現状の構造的な課題 2

留任枠の運営委員がブロック代表を十分に育成することが難しい



短時間でのトレーニングがしづらい環境であり、選ばれた人材が臨機応変に対応できる人材でなければ活躍が困難



改正案

運営委員会 12名

活動推進委員 6名

- (議長)
 - 副議長
 - 副議長
 - 広報担当*
 - 国際担当*
 - プログラム担当*
- *予定

内2名は
留任枠

議長

連携

ブロック代表委員 6名

- 北海道・東北ブロック
- 関東ブロック
- 中部ブロック
- 近畿ブロック
- 中四国ブロック
- 九州・沖縄ブロック

県代表による
ブロック内の選挙

ブロック

県

県代表による選挙

RCJ 構成員

活動推進委員とは

活動推進委員＝ローバー活動のプロフェッショナル。“縁の下の力持ち”

業務

- 全体の組織運営
- ローバー教育の中核的議論促進
- 日本連盟各種委員会・日本連盟コミッショナーとの連携
- RCJ事業等立案
- 全国のローバー活動の情報収集

望ましい人物像

- ローバー活動経験豊富な人物。県代表経験者なら尚更望ましい。
- スカウト関連のみならず幅広い知識を有し、多角的に運営委員の業務をこなせる人物
- 組織運営の経験に長けている人物
- 将来のローバー活動の発展に寄与する意思のある人物

ブロック代表委員とは

ブロック代表=ブロックのプロフェッショナル。“現場監督”

業務

- ブロック内の各県代表との連携、サポート
- ブロックイベントの企画等
- ブロック内のスカウトの意見集約
- ブロックと運営委員の架け橋

望ましい人物像

- 異なる現場（県連盟）の様子を観察・分析し、ニーズにあった解決策を提示できる人物
- 現場と現場をつなぐコミュニケーション能力を有し、ブロック内の県代表の連携に貢献できる人物
- 自身の県連盟での信頼が厚く、各々の県コミ・事務局との連携ができる人物。

活動推進委員×ブロック代表委員

活動推進委員とブロック代表委員は業務が違うだけの対等な存在

活動推進
委員



ブロック
代表委員

- “縁の下の力持ち”
- 全体に関わるローバーリングの推進

双方の連携プレー

- “現場監督”
- 現場のローバーリングのサポート

情報不足の解消

活動機会の提供

活動環境の改善



改正案

運営委員会 12名

活動推進委員
6名

- (議長)
 - 副議長
 - 副議長
 - 広報担当*
 - 国際担当*
 - プログラム担当*
- *予定

内2名は
留任枠

議長

連携

ブロック代表委員
6名

- 北海道・東北ブロック
- 関東ブロック
- 中部ブロック
- 近畿ブロック
- 中四国ブロック
- 九州・沖縄ブロック

県代表による
ブロック内の選挙

ブロック

県

県代表による選挙

RCJ 構成員

選出について

活動推進委員の選び方



活動推進委員は総会で選出します

県代表による選挙

任意の推薦制度を併用^(後述)

誰でも立候補可能*

任期一年再任可能

※ブロック代表との兼任は不可

推薦制度って何？

立候補者は推薦人を探ることができる！

- 立候補者は**任意**で推薦をもらうことができます。
- 推薦人に条件は設けていないので個人（例：隊長、県コミ）でも組織（例：地区ローバー、県ローバー）の推薦でもok！

何のための制度？ → **投票する際の判断材料**

- 立候補者のバックグラウンドをより理解するための制度。
推薦人がいれば、立候補者がどのくらい信頼を得ているかがわかるようになります。



活動推進委員選出の流れ

※推薦をもらうかは任意

立候補

友人、隊長、
所属組織、
県コミなどに
推薦をもらう

総会にて県代
表による選挙

活動推進
委員の
選出

推薦制度 = 投票の際の判断材料



そなえよつねに
ボーイスカウト

改革案スケジュール

1 2月

- 各方面での意見集約、質疑応答により構造改革案のブラッシュアップ開始
- 日本連盟コミッショナー、事務局との調整。選挙スケジュールの確認

2月

- 教育推進会議にRCJ議長が出席。構造改革案の紹介
- 活動推進委員選挙（総会で改革案が可決されればという条件付き）公募の準備

3月

- 活動推進委員立候補者公募
- RCJ総会に向けた準備

5月

- RCJ総会において憲章改正案および構造改革案の採決
- RCJ総会における選挙

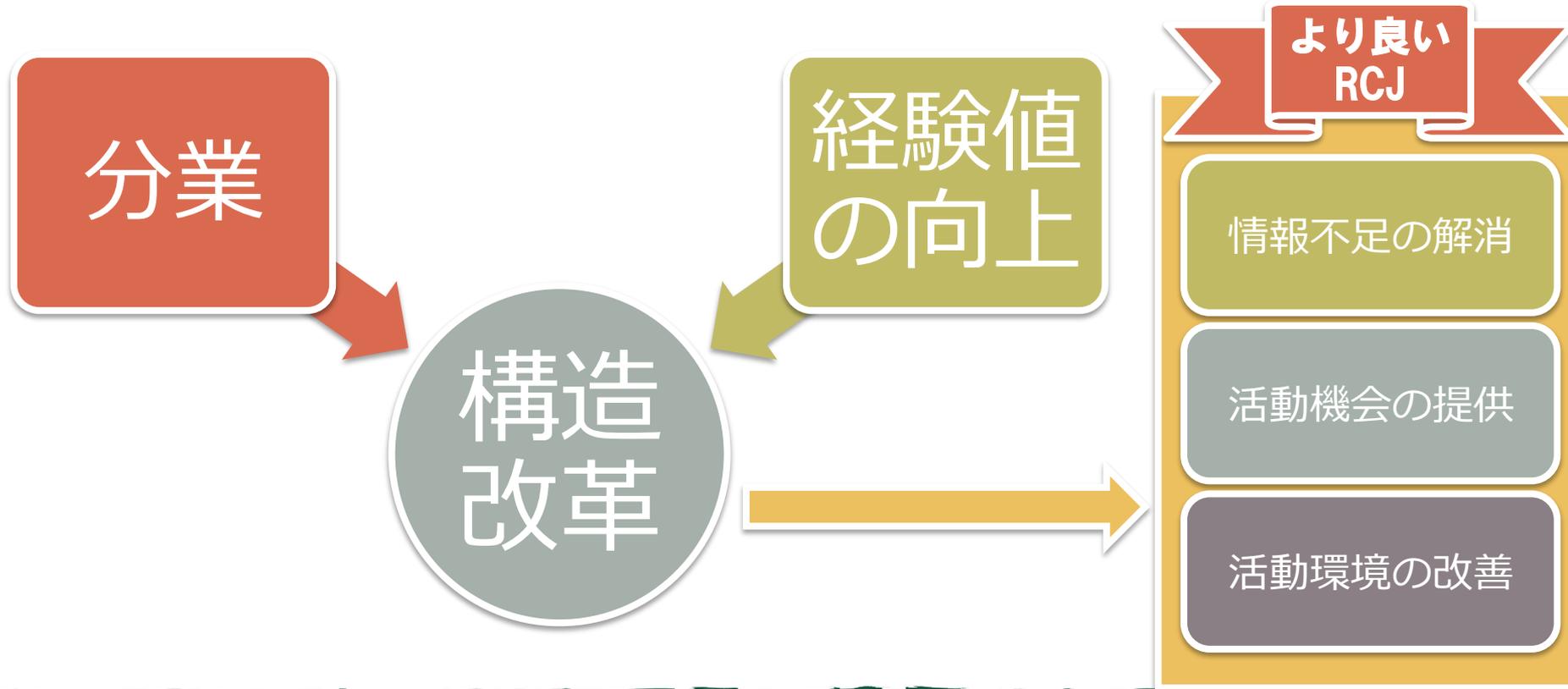


まとめ

組織改革案の意義



どうして構造改革するの？



改正案

運営委員会 12名

活動推進委員 6名

- (議長)
 - 副議長
 - 副議長
 - 広報担当*
 - 国際担当*
 - プログラム担当*
- *予定

内2名は
留任枠

議長

連携

ブロック代表委員 6名

- 北海道・東北ブロック
- 関東ブロック
- 中部ブロック
- 近畿ブロック
- 中四国ブロック
- 九州・沖縄ブロック

県代表による
ブロック内の選挙

ブロック

県

県代表による選挙

RCJ 構成員

RCJ憲章改正案

| 現行 | | 改正案 | | |
|--------|---|--------|--|---|
| 9-4(3) | 運営委員(5名) 運営委員会の中で必要とされた役務を分掌して担当する。 任期は1年とし、再任を妨げない。 | 9-4(3) | 運営委員(<u>9名以下</u>) 運営委員会の中で必要とされた役務を分掌して担当する。 任期は1年とし、再任を妨げない。 | 条文改正 ※運営委員の人数変更 |
| 10-2 | 10条2項 運営委員会は、日本連盟定款第56条に定めるブロックから各1名ずつ、及び前年度運営委員から選ばれた2名で構成する。 | 10-2 | <u>選出する運営委員会は、次の通りとする。</u> (1)日本連盟定款第56条に定めるブロックから各1名 ずつ、及び前年度運営委員から選ばれた2名で構成する。 (2) <u>前年度運営委員の2名を含めた、RCJの活動を推進する者で、その合計数がブロックの代表の数を超えない</u> | 条文改正 ※前年度運営委員からの選出については、位置づけが変わったため標記を変更 |

第 9 条 (運営委員会)

1. この組織は、運営を円滑に行うために運営委員会を設置する。
2. 運営委員会には運営委員、アドバイザーの他、議長の指名する者が参加できる。
3. 運営委員会は必要に応じて議長が開催する。
4. 運営委員会の構成は次の通りとする。
 - (1) 議長(1名) 総会、運営委員会をまとめ、RCJを代表する。任期は1年とし、再任を妨げない。
 - (2) 副議長(2名) 議長を補佐し、議長が不在のときはこれを代理する。任期は1年とし、再任を妨げない。
 - (3) 運営委員(9名以下) 運営委員会の中で必要とされた役務を分掌して担当する。任期は1年とし、再任を妨げない。

第 10 条 (運営委員の選出)

1. この組織は、運営委員会の委員を総会において選出する。
2. 選出する運営委員会は、次の通りとする。
 - (1) ~~日本連盟定款第56条に定めるブロックから各1名ずつ、及び前年度運営委員から選ばれた2名で構成する。~~
 - (2) 前年度運営委員の2名を含めた、RCJの活動を推進する者で、その合計数がブロックの代表の数を超えない
3. 運営委員会の中から本憲章 9-4 に定める構成を互選によって決める。



FAQ

よくある質問



そなえよつねに
ボーイスカウト

FAQ 1

Q.

構造改革案導入のスケジュールが早いように思うが、
問題はないのか

A.

RCJが将来的に「使われるRCJ」を目指すにあたり、
可能な限り早い構造改革が求められています。この
導入スケジュールにおいても構造改革案について十分
な周知・議論がなされるように対応して参ります。



FAQ 2

Q.

選出の周知方法はどうなるのか

A.

周知方法として、RCJの県組織ネットワークのみならず、日本連盟コミや事務局のご協力のもと、可能な限り幅広い情報共有を行います。